

【決議事項】 第 1 号

2025年事業報告（第18期）



特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

2025年 事業報告書 (第18期)

2025年1月1日から 2025年12月31日まで

特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

1 事業の成果

2025年は、第36回高専プロコン松江大会（対面開催）への共催を行い、また、協賛企業さまより複数の講師を招き、全国の高専生向けにシンポジウムを実施するなど産学連携活動で大きな成果を挙げました。

さらに、高専プロコン本選の様子のライブ配信をするなど、活躍する高専生の様子を広報することができました。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施 予 定 日 時	実 施 場 所	従 事 者 の 人 数	受 益 対 象 者 の 範 囲 及 び 人 数	支 出 額 (千円)
高専プロコン 運営事業	第36回全国高専プロコンの 運営（予選）	6月28日	東京都	40名	予選応募学生・ 指導教員なら びに審査委員 約630人	39,593
	第36回全国高専プロコンの 運営（本選）	10月11日 ～ 10月12日	島根県 松江市	50名	本選出場学生・ 引率教員及び 産業界からの 参加者、一般市 民約1,200名	
国際コンテ スト運営事業	第17回国際プロコン準備	—	—	5名	—	617
産学連携事業	高専プロコン連携シンポジウ ム	4月24日	全国（オン ライン）	10名	教職員・学生な ど約500名	43
広報事業	競技部門BGMの制作	/				30
	プロコンコミックの制作	/				484
					合 計	40,766

2025年事業報告（第18期総括）

2025年は第18期を迎え、昨年に引き続き、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症に配慮しつつ高専プロコンを対面で開催し、交流企画も通常規模で実施するなど大会参加人数の制限をすることなく、盛況に大会を実施できました。なお、本大会は第17回国際プロコンの国内予選という位置付けにもなっており、国際プロコン出場チームの選抜を行いました。

主な事業活動

【高専プロコン運営事業】

- 2025年6月28日(土)予選審査会 都立産業技術工業高等専門学校品川キャンパス・ハイブリッド
- 2025年10月11日(土)～12日(日)本選 くにびきメッセ（島根県松江市）

	第36回(2025年) 松江大会		第35回(2024年) 奈良大会	
	チーム数	参加校数	チーム数	参加校数
本選参加者数	1,378		1,267	
参加学生(含海外)	369		355	
参加学生(選手以外)	68		62	
引率教員(含海外)	75		95	
大会役員、高専関係者	40		27	
後援団体	8		8	
協賛企業	181		193	
審査委員	39		38	
プロコン委員	48		51	
報道関係者	7		4	
小計	835		833	
一般来場者	402		215	
主管校教職員	103		95	
主管校学生	38		124	
応募数	160	58	155	61
課題部門	40	31	40	28
自由部門	66	45	57	41
競技部門	54		58	

- ・ YouTube Live の視聴者数は、下記のとおり（2025/11/30時点）
 - 開会式 1,040、特別講演 502、閉会式 1,619
 - 課題部門プレゼン 2,594、自由部門プレゼン 2,117 課題・自由デモ 2,081
 - 競技部門 大会1日目 3,036、大会2日目 3,225

第36回(2025年)島根大会受賞校

部門	主な受賞	高専名
課題部門	文部科学大臣賞（最優秀賞） 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	鳥羽商船高専
	優秀賞	豊田高専
	特別賞	松江高専
	特別賞	阿南高専
	特別賞	大島商船高専
	特別賞	阿南高専
自由部門	文部科学大臣賞（最優秀賞） 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	熊本高専(熊本)
	優秀賞	香川高専(詫間)
	特別賞	熊本高専(八代)
	特別賞	豊田高専
	特別賞	阿南高専
	特別賞	鳥羽商船高専
競技部門	文部科学大臣賞（優勝） 情報処理学会若手奨励賞 電子情報通信学会若手奨励賞	八戸高専
	準優勝	東京高専
	第三位	徳山高専
	特別賞	仙台高専(広瀬)
	特別賞	石川高専
	特別賞	木更津高専

【国際プロコン運営事業】

2026年3月にベトナムで開催予定の17回NAPROCK国際大会へは、競技部門については、優勝、準優勝、第3位、特別賞を獲得したチーム、課題部門については、最優秀賞、優秀賞、特別賞を獲得したチームを推薦しました。

【産学連携事業】

➤ 高専プロコン連携シンポジウム 2025

(1) 4月24日(木) 16:30~17:10

- 講演タイトル：「プロコンの表舞台から支える側へ
～学生と社会人、両視点から見るプロコンの真価～」

講演者：株式会社 FIXER

エンタープライズ部門 エンジニア 石川 順平氏、
名古屋部門 エンジニア 中山 翔馬氏、
管理部門 採用責任者 伊藤 翼氏

※ 講演に引き続き、応募説明会（課題・自由部門募集内容、競技部門ルール等）、
オンライン受付システムならびに国際大会に係る補足説明を実施

- 事前申し込み数：のべ 45 高専
 - 4/24(木) 講演 37 件，応募説明会 32 件
- アンケート回答数
 - ◇ 参加者向けアンケート：87 件
 - ◇ 学校向けアンケート：11 件
- 視聴データ等
 - ◆ 当日ライブ視聴者数：ピーク時 173 人
 - ◆ 実施一か月後までの視聴回数：305 回

【広報活動事業】

1. 高専プロコン公式サイト、NAPROCK 公式サイト、Facebook、X(旧 Twitter)等の運営シンポジウム、プロコン本選など事業関連の情報を SNS 等通じて公開しました。
2. プロコンコミック
第 34 回大会特別レポート（2、3 回）を作成・公開しました。
第 35 回大会レポートについては作成中です。
第 36 回大会も取材を行っています。
3. メディアスポンサーの対応
メディアスポンサーとして株式会社高専キャリア研究所に協力いただきました。
ヤフー株式会社はライブ配信の運営協力をいただきました。

プロコン松江大会（2025年）報道関係リスト

- 全国高専プログラミングコンテスト松江高専が入賞目指す 10月11・12日松江で初の島根開催 (中国新聞) 2025/10/09
- 善意を見守る料金箱松江高専生が開発 (山陰中央新報) 2025/10/10
- NICT賞に熊本高専「CPR_BEAT」と、鳥羽商船高専「しらせーる」、第6回高専プロコン松江大会 (jigjp) 2025/10/12
- 【高専プロコン】もつく、3度目の高専プロコンへ【松江大会参加レポート】 (jigjp) 2025/10/21
- プログラミング技術を競うコンテスト_56校が独創的な作品が発表_松江高専は直売所の価格設定などをサポートするプログラムを発表 (日本海テレビ) 2025/10/21
- 第36回高専プロコン松江大会、競技部門優勝は八戸高専、課題部門は鳥羽商船高専、自由部門は熊本高専熊本キャンパスが最優秀賞 (BCN+R) 2025/10/23
- 高専生たちがICTで環境問題に挑む！高専プロコン松江大会参加レポート (ASCII.jp_FIXER) 2025/10/24
- 第36回高専プロコン観戦記 (株式会社エリートネットワーク) 2025/10/27
- 第36回全国高等専門学校プログラミングコンテスト結果報告 (NICT 情報通信研究機構) 2025/10/28
- 高専プロコン松江大会、企業側として参加してきた話 (ASCII.jp_FIXER) 2025/10/29
- ピクシブは今年も高専生を全力応援！「高専プロコン第36回松江大会」協賛・参加レポート (pixiv) 2025/10/29
- 第36回全国高専プログラミングコンテスト現地レポート (cloud.configTechBlog) 2025/10/31
- 高専プロコン、情報通信技術のアイデア・実現力競う (文教ニュース) 2025/11/03
- 【熊本高専】第36回全国高専プログラミングコンテスト自由部門で最優秀賞・特別賞を受賞しました (産経新聞) 2025/11/04
- 共感したり圧倒されたり…高専プロコン松江大会で印象に残った作品 (ASCII.jp_FIXER) 2025/11/06
- エンジニア視点で見た 高専プロコン松江大会のすごい作品 (ASCII.jp_FIXER) 2025/11/07
- 【鳥羽商船高専】第36回全国高等専門学校プログラミングコンテスト課題部門で2年連続最優秀賞を受賞 (紀伊民報) 2025/11/11
- 産直野菜_アプリで値付け_撮影すれば値札出力_松江高専生が開発 (山陰中央新報) 2025/11/19
- プロコン観戦記 (日本経済新聞) 2025/11/26
- GO!GO!プロコンガール
 - 第34回福井大会② 2025/06/24
 - 第35回福井大会③ 2025/09/11
- YouTube 高専プロコン #procon36 (アクセス数 2026/01/08)
<https://www.youtube.com/hashtag/procon36>
 - 開会式(1,078)
 - 課題部門プレゼンテーション(2,650)
 - 自由部門プレゼンテーション(2,190)
 - 課題部門デモンストレーション(1,096)
 - 自由部門デモンストレーション(1,118)
 - 競技部門1日目(3,123)

- 競技部門 2 日目(3,372)
- 特別公演(511)
- 閉会式(1,664)
- 受賞チームインタビュー(358)
- X (旧 Twitter)
https://twitter.com/hashtag/procon35?src=hashtag_click
- 高専プロコン | Facebook (<https://www.facebook.com/KosenProcon/>)

【決議事項】 第 2 号

2025年決算報告（第18期）



特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

第 18 期 決 算 書 類

財 産 目 録

貸 借 対 照 表

活 動 計 算 書



特定非営利活動法人
高専プロコン交流育成協会

自 2025年 1月 1日
至 2025年12月31日

2025年 特定非営利活動事業 財産目録

2025年12月31日現在

特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

(単位:円)

I	資産の部	
	1. 流動資産	
	現金預金	普通預金 三菱UFJ銀行 梅田中央支店
		35,580,489
	未収金	主管校清算金
		399
		会員会費
		85,000
	前払金	ベトナム渡航費用
		7,500,000
	2. 特別資産	
	プロコン基金	定期預金 三菱UFJ銀行 梅田中央支店
		45,000,000
	<流動資産計>	88,165,888
	【資産合計】	88,165,888
II	負債の部	
	1. 流動負債	
	未払金	IT教育振興寄付金
		3,000,000
		プロコン動画作成費
		990,000
		特別講演謝金
		62,700
	<流動負債計>	4,052,700
	【負債合計】	4,052,700
	【差引:正味財産】	84,113,188

2025年 特定非営利活動事業 貸借対照表

2025年12月31日現在

特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

(単位:円)

I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金 普通預金	35,580,489
未収金	85,399
前払金	7,500,000
2. 特別資産	
プロコン基金	45,000,000
<流動資産計>	88,165,888
【資産合計】	88,165,888
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	4,052,700
<流動負債計>	4,052,700
【負債合計】	4,052,700
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	82,701,193
当期正味財産増減額	1,411,995
【正味財産合計】	84,113,188
【負債・正味財産合計】	88,165,888

2025年 特定非営利活動事業 活動計算書

2025年1月1日から 2025年12月31日まで

特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

(単位：円)

	予算額	決算額	差額
I 経常収入			
1. 受取会費			
正会員受取会費			
学校会員	1,890,000	1,890,000	
企業会員	70,000	70,000	
個人会員	90,000	85,000	
<受取会費計>	2,050,000	2,045,000	-5,000
2. 事業収入			
高専プロコン関係者交流促進事業収入	0	0	
<事業収入計>	0	0	0
3. 寄付金収入			
受取協賛金	55,784,000	47,780,000	
<寄付金収入計>	55,784,000	47,780,000	-8,004,000
4. その他の収入			
受取利息	6,000	129,689	
<その他の収入計>	6,000	129,689	123,689
【経常収入計】	57,840,000	49,954,689	-7,885,311
II 経常支出			
1. 事業費			
(1)人件費	0	0	
(人件費計)	0	0	0
(2)その他経費			
会場設営費	9,660,000	9,344,977	
大会設備費	4,800,000	3,660,580	
広告宣伝費	11,910,000	5,675,750	
旅費交通費	12,130,000	13,098,371	
業務委託費	6,330,000	6,257,155	
通信事務費	600,000	150,278	
会議費	650,000	544,820	
賞品代	1,050,000	1,146,694	
消耗品費	1,560,000	872,002	
支払手数料	150,000	15,290	
什器備品	200,000	0	
(その他経費計)	49,040,000	40,765,917	
<事業費計>	49,040,000	40,765,917	-8,274,083
2. 管理費			
(1)人件費			
(人件費計)	0	0	0
(2)その他経費			
旅費	1,500,000	1,586,155	
業務委託費	1,800,000	1,739,495	
会議費	500,000	253,877	
事務通信費	250,000	218,479	
消耗品費	50,000	10,186	
什器備品経費	0	206,800	
支払手数料	200,000	295,339	
IT教育振興寄付金	3,000,000	3,000,000	
雑費	500,000	466,446	
(その他経費計)	7,800,000	7,776,777	
<管理費計>	7,800,000	7,776,777	-23,223
3. 予備費	1,000,000		-1,000,000
【経常支出計】	57,840,000	48,542,694	-9,297,306
当期経常収支増減額	0	1,411,995	1,411,995
当期正味財産増減額	0	1,411,995	1,411,995
前期繰越正味財産額	82,701,193	82,701,193	0
次期繰越正味財産額	82,701,193	84,113,188	1,411,995

【決議事項】 第4号

2026年事業計画（第19期）



特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

第 17 回 NAPROCK 国際プログラミングコンテスト 大会概要（案）

(The 17th NAPROCK International Programming Contest, Hanoi, Vietnam)

1. 主催 NPO 法人 高専プロコン交流育成協会
2. 共催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会
ハノイ国家大学工科大学
3. 後援・協賛 国立高等専門学校機構、ソフトウェア協会、在ベトナム日本国大使館、
ベトナム情報処理協会、ベトナム文科省、ベトナム IT 工業会（予定を含む）
4. 応募資格 日本：国公立高専の本科生および専攻科生
(全国高専プログラミングコンテスト本選において推薦された上位各 6 チーム)
海外：高専生・大学生等（選抜を行なう場合があります）
5. 募集部門（全国高専プログラミングコンテストに準じます）
パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の 2 部門で競います
(1) 課題部門 「ICT を活用した環境問題の解決」をテーマにした作品
(2) 競技部門 与えられたルールによる対抗戦
6. 募集期間（各国における予選応募期間）
7. 審査方法・日程
方 法：課題部門はプレゼンおよびデモによる審査、競技部門は対抗戦
日 時：2026 年 3 月 8 日（日）～ 3 月 9 日（月）
会 場：ハノイ国家大学工科大学 及び ハノイ教育大学（工科大学に隣接）
Vietnam National University, University of Engineering and Technology
Hanoi National University of Education
(Xuan Thuy Street, Cau Giay, Ha Noi, Vietnam)
審査委員：日本 3 名（全国高専プログラミングコンテスト審査委員）、ベトナム 2 名
8. 表彰
(1) 課題部門 Grand Prize (1), 2nd Prize (1), 3rd Prize (1), Special Prize (数チーム)
(2) 競技部門 Champion (1), 2nd Prize (1), 3rd Prize (1), Special Prize (数チーム)
(その他、学長賞、企業賞等を検討中)
9. 応募要項
<http://www.naprock.jp/> (NAPROCK 公式サイト)
<https://www.facebook.com/naprock2008> (NAPROCK Facebook ページ)
<http://www.procon.gr.jp/> (プロコン公式サイト)
10. その他
(a) 全国高専プロコンの運営形態（競技システムを含む）に準じて実施する
(b) プレゼン等の言語は英語を原則とする
(c) 役員、審査委員、運営スタッフの日本側担当人員も派遣する

第 17 回 NAPROCK 国際プログラミングコンテスト (ベトナム大会)
(補足資料)

1. 経費の内訳

旅費 (航空運賃, 宿泊費, 研修, 旅行保険, 国内旅費)	¥20,000,000
ベトナムへの支援金	¥3,000,000
審査委員謝金	¥240,000
予備費 (追加派遣, 関連企画, 海外チーム支援 等)	¥1,760,000
合計	¥25,000,000

2. 派遣対象者・大会参加チーム

大会役員・委員, 運営支援者 12 名

審査委員 3 名

参加学生・指導教員 (日本) 48 名

(第 36 回高専プロコン受賞チーム 課題部門・競技部門: 各 6 チーム,
1 チーム: 学生 3 名, 教員 1 名)

課題: 鳥羽商船、豊田、松江、阿南(2 チーム)、大島商船

競技: 八戸、東京、徳山、仙台(広瀬)、石川、木更津

参加海外チームの所属

National University of Mongolia, Mongol Koosen College of Technology,
NEW Mongol Koosen College of Technology, KOSEN-KMITL,
Cao Thang Technical College, VNU University of Engineering and Technology,
Ho Chi Minh City University of Technology and Engineering,
HUTECH University, Hanoi University of Industry,
Ho Chi Minh City University of Education,
Posts and Telecommunications Institute of Technology – Hanoi,
Ho Chi Minh City University of Technology 等

3. 日程

3 月 6 日 (金)	日本国内移動 (成田空港・関西国際空港付近のホテル泊)
3 月 7 日 (土)	成田空港・関西国際空港 発 ハノイ 着
3 月 8 日 (日)	大会 1 日目 (ハノイ国家大学工科大学・ハノイ教育大学) 午前 開会式, 課題プレゼンテーション審査, 競技準備 午後 課題プレゼンテーション審査, 競技予選, 交流会
3 月 9 日 (月)	大会 2 日目 (ハノイ国家大学工科大学・ハノイ教育大学) 午前 課題デモンストレーション審査, 競技 敗者復活戦・準決勝・決勝 午後 交流企画, 表彰式・閉会式
3 月 10 日 (火)	異文化体験研修 (ハノイ近郊)
3 月 11 日 (水)	ハノイ 発 (深夜便) 成田空港・関西国際空港 着 (朝)

2026年事業計画書（第19期）

2026年1月1日から 2026年12月31日まで

特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

1 事業実施の方針

特定非営利活動に関する事業として、教育界、情報サービス産業界はじめ一般社会人、学生などの不特定多数の層を対象として、全国高専プロコンの運営および国際プロコン大会の開催管理、産業界と教育界の連携を図るためのセミナーの開催等を計画します。また、広報事業としてプロコンコミックの制作も継続して行います。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日程	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見 込み額 (千円)	
高専プロコン 運営事業	全国高専プロコンの運営 (予選)	6月	未定	40名	応募学生・教員 ならびに審査委員 700人	39,260	
	全国高専プロコンの運営 (本選)	10月	香川県 高松市	50名	全国高専からの コンテスト出場学生・ 教員及び産業界からの 参加者一般市民 約1,000名		
国際コンテスト 運営事業	第17回国際プロコン大会 開催	3月	ベトナム ハノイ	10名	日本および海外からの 参加学生・教員 約110名	25,000	
	第18回国際プロコン大会 開催	10月	香川県 高松市	5名	海外からの参加 学生・教員 約35名	2,850	
産学連携事業	産学連携シンポジウム	4月	全国 (ネット 配信)	10名	高専教職員など 約500名	130	
広報事業	プロコンコミックの制作・ 出版						2,500
	プロコン公式サイト の更新						3,000
合 計						72,740	

第 37 回全国高等専門学校 プログラミングコンテスト開催概要（案） 「香川で打つ、挑戦のアルゴリズム」

1. 主 催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会 （国公立高専の連合組織）
2. 共 催 特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会（NAPROCK）
3. 後援（予定）
文部科学省，総務省，経済産業省，警察庁，デジタル庁，香川県，香川県教育委員会，高松市，高松市教育委員会，香川県商工会連合会，香川県商工会議所連合会，一般社団法人ソフトウェア協会，一般社団法人情報処理学会，一般社団法人電子情報通信学会，一般社団法人教育システム情報学会，一般社団法人人工知能学会，国立研究開発法人情報通信研究機構，一般社団法人デジタル地方創生推進機構，日本弁理士会四国会，NPO法人ITジュニア育成交流協会，NHK，RSK山陽放送，RNC西日本放送，OHK岡山放送，KSB瀬戸内海放送，TSCテレビせとうち，ケーブルメディア四国，FM香川，四国新聞社，朝日新聞高松総局，読売新聞高松総局，毎日新聞高松支局，日刊工業新聞社，香川高等専門学校高松キャンパス後援会，高松工業会（香川高等専門学校高松キャンパス同窓会），香川高等専門学校産業技術振興会
4. 主 管 校 独立行政法人国立高等専門学校機構 香川高等専門学校
5. 応募資格 国公立高専の学生 （専攻科生を含む）
6. 協 賛 特別協賛・一般協賛 40 社以上を予定
7. 募集部門 パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の 3 部門で競います
(1) 課題部門 「ICTを活用した作業効率の向上」をテーマにした作品
(2) 自由部門 自由なテーマで独創的な作品
(3) 競技部門 与えられたルールによる対抗戦
8. 募集期間： 2026 年 5 月 18 日（月）～25 日（月）
9. 予選（書類による審査）
日 時 2026 年 6 月 27 日（土）
会 場 東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパス（東京都品川区東大井 1-10-40）
10. 本選（プレゼン・デモ等による審査，競技は対抗戦）
日 時 2026 年 10 月 10 日（土）～ 10 月 11 日（日）
会 場 サポートホール高松（香川県高松市サポート 2-1）
11. 表彰
(1) 課題・自由部門（各々）
最優秀賞 優秀賞 特別賞
(2) 競技部門
優勝 準優勝 第三位 特別賞
(3) 最優秀賞および優勝チームには，文部科学大臣賞，情報処理学会若手奨励賞並びに電子情報通信学会若手奨励賞が授与されます
(4) 協賛企業から選ばれたチームには，企業賞が授与されます
12. 備考（本大会は第 18 回 NAPROCK 国際プログラミングコンテストとして同時開催する予定です。）
 - ・高専プロコン公式サイト：<https://www.procon.gr.jp/>
 - ・NAPROCK 公式サイト：<https://www.naprock.jp/>
 - ・高専プロコン X 公式アカウント：<https://x.com/KosenProcon>
 - ・高専プロコン 公式 Facebook ページ：<https://www.facebook.com/KosenProcon/>

第 18 回 NAPROCK 国際プログラミングコンテスト 大会概要（案）

(The 18th NAPROCK International Programming Contest, Takamatsu, Japan)

1. 主催 NPO 法人 高専プロコン交流育成協会
2. 共催 一般社団法人 全国高等専門学校連合会
3. 後援・協賛 全国高専プログラミングコンテストに準じます
4. 応募資格 日本：国公立高専の本科生および専攻科生
(全国高専プログラミングコンテスト本選に参加する者)
海外：高専生・大学生 (NAPROCK,各高専等が招聘する者,選抜を行なう場合があります)
5. 募集部門 (全国高専プログラミングコンテストに準じます)
パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の 3 部門で競います
(1) 課題部門 「ICTを活用した作業効率の向上」をテーマにした作品
(2) 自由部門 自由なテーマで独創的な作品
(3) 競技部門 与えられたルールによる対抗戦
6. 募集期間 2026 年 5 月 18 日 (月) ～ 2026 年 5 月 25 日 (月)
7. 審査方法・日程
方 法：課題・自由部門はプレゼンおよびデモによる審査，競技部門は対抗戦
日 時：2026 年 10 月 10 日 (土) ～ 10 月 11 日 (日)
会 場：サンポートホール高松 (香川県高松市サンポート 2-1)
審査委員：全国高専プログラミングコンテストに準じます
8. 表彰
(1) 課題・自由部門 (各々) 国際最優秀賞 国際優秀賞 国際特別賞
Grand Prize Second Prize Special Prize
(2) 競技部門 国際優勝 国際準優勝 国際特別賞
Champion First-Runner-up Prize Special Prize
9. 応募要項
<http://www.naprock.jp/> (NAPROCK 公式サイト)
<https://www.facebook.com/naprock2008> (NAPROCK Facebook ページ)
<http://www.procon.gr.jp/> (プロコン公式サイト)
10. その他
(a) 第 37 回全国高専プログラミングコンテストと同時開催とします
(b) 高専プロコン委員会および主管校が運営に協力します

産学連携事業概要（案）

1. 産官学連携事業の狙い

ICTに関する産業界、官庁、全国の高等専門学校との連携を促すためのサポートを行います。内容はICT業界に関する講演会、産官学連携の実践講座、各高専においてICT業界の業務内容、必要な知識、技術などについての説明を行う場のサポートなど、産官学交流の場を設けます。

- (1) NAPROCK 主催、あるいは共催の講演会の開催
- (2) 高専・近隣地域で NAPROCK がサポートする交流の場の提供
- (3) 希望高専に対して、ICTに関する実践講座（あるいはサポート）の実施

2. 事業内容

- ・本年もライブ配信による高専プロコン産学連携シンポジウムを実施します。

日 程：2026年4月（予定）

内 容：YouTube ライブにより全国の高専生にライブ配信（アーカイブ配信も予定）

※合わせて、高専を会場としたオンサイト（ハイブリッド形式）も検討

広報活動事業概要（案）

1. 事業の目的

公式ホームページ等により、本 NPO の活動を広く周知します。

2. 事業の概要

2-1 各事業に関する情報の掲載

本 NPO の事業の実施と連携して記事を掲載し、継続的な内容の更新を行います。

(1) プロコン事業・国際プロコン事業

- プロコン募集要項の公開・周知
- プロコン本選に伴う結果の迅速な公開
- マスコミ掲載などの資料整理

(2) 高専プロコン連携シンポジウム

- X(旧 Twitter)による意見・質問の集約
- アンケートの集計

(3) プロコンコミックの制作

- 高専プロコンを題材に作品を作成します。
- GO!GO プロコンガールの単行本を作成します。

(4) 公式サイトの更新

- 高専プロコン・Naprock 公式サイトのデザインを一新、セキュリティの向上を行います。

2-2 その他

- コンテンツの充実、SNS の活用を進めます。

【決議事項】 第 5 号

2026年活動予算（第19期）



特定非営利活動法人 高専プロコン交流育成協会

